

■毎年測定指標(生涯スポーツ課の所管する事業・施設)		方向性	参考	第二次計画 計画期間				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
1	①市主催事業の参加者数(人)	↗	25,888	120,154				
2	②市体育施設の利用者数(人)	↗	1,638,962	2,208,313				
3	③スポーツ関係団体の団体数(団体)	↗	65	65				
	③スポーツ関係団体の会員数(人)	↗	36,441	36,546				
	④地域住民との連携・協働により行った事業の実施回数(回)	↗	113	280				

- 考察
- ①市主催事業の参加者数(人)については、令和4年度より市主催のスポーツ教室から指定管理者の自主事業に移行したことにより実績値が増加した。
 - ②市体育施設の利用者数(人)について、令和3年度が新型コロナウイルス感染症の影響を受け実績が少なかった。
 - ④地域住民との連携・協働により行った事業の実施回数(回)について、令和3年度が新型コロナウイルス感染症の影響を受け実績が少なかった。

全事業87事業		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
1	毎年点検事業	34				
2	毎年点検事業のうち点検指標があるもの	29				
3	実績値が向上した	19				
	実績値が変化なし	6				
	実績値が低下した	4				

第二次船橋市生涯スポーツ推進計画 各施策対応事業管理表 【令和4年度版】

■毎年測定指標（生涯スポーツ課の所管する事業・施設）		方向性	
基本 施策	1	①市主催事業の参加者数	↗
	2	②市体育施設の利用者数	↗
	3	③スポーツ関係団体の団体数・会員数	↗
	4	④地域住民との連携・協働により行った事業の実施回数	↗

基本 施策	施策 番号	施策	取組 番号	取組名	事業課へ毎年進捗調査項目										該当事業のみ			該当事業のみ毎年調査項目																
					事業名	再開 あり	する	みる	達成 える	連携 ・協働	所管課	事業 区分	概要	毎年 点検 事業	毎年 測定 指標	点検指標	目標 区分	実績値		実績 区分	所感	事業 区分	目標 区分	来年度方向性 詳細										
																		令和3年度 (参考数値)	令和4年度															
1	1	広く市民を対象としたスポーツの推進	1	スポーツを始めるきっかけづくり	1	スポーツの捉え方の意識改革		●	●	●		生涯スポーツ課	新規	スポーツは健康によく、生活に身近で、気軽に楽しめるものであるという意識の醸成が図られるよう、イベントやホームページ等で市民にPRを行います。																				
					2	誰もが参加しやすいスポーツ教室の推進	●	●			●	生涯スポーツ課	継続	多様な市民ニーズの把握に努め、市民自らが主体的にスポーツ活動に取り組めるよう誰もが参加しやすい教室となるよう、関係団体や指定管理者等と連携しながら開催します。	●	①	参加者数	↗	679	77,175	↗	令和4年度より市主催のスポーツ教室から指定管理者の自主事業に移行したことにより実績値が増加した。	継続	→	参加者を確保するため、引き続き教室の周知を行う。									
					3	市民体育大会開催への支援		●	●	●	●	生涯スポーツ課	継続	競技力の向上だけでなく、スポーツの持つ効用が発揮できるよう、幅広い層の市民が参加できるような大会運営について船橋市スポーツ協会を支援します。	●	①	参加者数	↗	24,931	41,311	↗	令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止と判断した競技もあり、26競技で開催した。令和4年度は感染症に留意しつつ32競技で開催できた。	継続	↗	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこと等に伴い、中止はほぼ無くなると思われるので、全39競技での開催できるようにスポーツ協会と連携を図る。									
					4	市民マラソン大会・駅伝大会の開催		●			●	生涯スポーツ課	継続	船橋市マラソン・駅伝実行委員会と連携し、広く市民にマラソン競技を普及し、併せて体力の向上とスポーツの振興を図ることを目的とし、幅広い市民が参加できる大会の開催を推進します。	●	①	参加者数	↗	0	1,289	↗	令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市民マラソン、成人の日駅伝、小学生女子駅伝が中止だった。令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止に留意しつつ、市民マラソン、小学生女子駅伝を開催した。	継続	↗	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこと等に伴い、令和4年度事業に加え成人の日駅伝を開催し、参加者数の増加を図る。									
					5	公民館等におけるスポーツ教室の開催		●				中央公民館	継続	公民館において、地域住民のニーズに応じたスポーツ教室など、健康に関する事業を推進します。																				
					6	健康教育の充実		●				地域保健課	継続	各保健センターにおいて、市民の健康保持・増進や生活習慣病予防等のために、運動習慣づくり教室等、健康教育事業を推進・充実します。また、各保健センターと他の施設、他課と連携を図りながら、地域に向向いて地域住民の健康づくりの支援・啓発をします。																				
					7	公園を活用した健康づくり事業の推進		●			●	地域保健課	継続	運動が習慣づけられるよう、身近な公園を活用した健康づくりを検討し、推進していきます。																				
					8	健康ポイント事業の推進		●				地域保健課	新規	健康に関心ある人だけでなく、無関心な人や関心があるが取り組むきっかけがない人にも健康づくりが取り組めるように事業を推進していきます。																				
					2	1	プロスポーツチームと連携したスポーツの魅力発信	1	プロ・トップスポーツチームの魅力発信	●	●		●	生涯スポーツ課	新規	千葉ジェッツふなばしやクボタスピアーズ船橋・東京ベイの展示を行ったり、市広報紙では特集を組む等、船橋市を拠点としたチームの魅力を発信し、市民が一丸となって応援することで地域の繋がりを強くするとともに、市民のスポーツへの関心を高めます。																		
								2	プロ・トップスポーツアスリートによるスポーツ教室	●	●	●	●	生涯スポーツ課	新規	千葉ジェッツふなばしやクボタスピアーズ船橋・東京ベイ等による、スポーツ教室を開催し、トップレベルの選手から直接指導を受けることにより、子供たちに夢や希望を与え、スポーツへの関心を高めます。	●		実施回数 参加者数	→	2 266	8 727	↗	令和3年度については新型コロナウイルス感染症の感染拡大の為事業中止となるが多かったが、令和4年度については新型コロナウイルス感染症対策を講じながら事業を行い、実施回数・参加者数は向上した。	継続	→	プロスポーツチームによる活動は、スポーツを推進する上で有効な活動であることから継続する。							
2	1	子供のスポーツ機会の充実と体力向上	1	幼児期からの運動習慣づくりの推進	1	親子や家族で参加できるスポーツイベントの推進	●	●		●	生涯スポーツ課	継続	親子や家族で参加できるスポーツイベントを船橋市スポーツ協会、船橋市スポーツ推進委員協議会、指定管理者等と連携を図りながら、参加枠の拡大を推進します。(Ex:市民マラソン大会等)	●																				
					2	親子教室等の開催	●	●			地域子育て支援課	継続	児童ホームにおいて、親子ふれあい教室等成長過程に合わせた体力づくりなどの事業を推進します。																					
					3	プレーパーク		●			青少年課	新規	船橋市立大神保青少年キャンプ場を会場とした、自然遊び体験																					

第二次船橋市生涯スポーツ推進計画 各施策対応事業管理表 【令和4年度版】

■毎年測定指標（生涯スポーツ課の所管する事業・施設）		方向性
基本 施策	1 ①市主催事業の参加者数	↗
	2 ②市体育施設の利用者数	↗
	3 ③スポーツ関係団体の団体数・会員数	↗
	4 ④地域住民との連携・協働により行った事業の実施回数	↗

基本 施策	施策 番号	施策	取組 番号	取組名	事業課へ毎年進捗調査項目										該当事業のみ			該当事業のみ毎年調査項目							
					事業名	再掲 あり	す る	み る	達 さ る	連 携 ・ 協 働	所管課	事業 区分	概要	毎年 点検 事業	毎年 測定 指標	点検指標	目標 区分	実績値		実績 区分	実績 所感	事業 区分	目標 区分	来年度方向性 詳細	
																		令和3年度 (参考数値)	令和4年度						
	2	子供が生涯にわたってスポーツを継続できる資質や能力の向上		1 小中学校における個に応じた指導の充実		●		●		保健体育課	継続	積極的に運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、豊かなスポーツライフの基礎を培えるよう、個に応じた指導の充実を図ります。	●	/	/	/	/	令和3年度に比べ、体育科学習の充実を図ろうと要請訪問・学校訪問での希望数が増加した。	継続	/	体育主任研修で体育科学習の充実の大切さを伝え、積極的な要請訪問での授業実施を呼びかける。				
				2 教育活動などとした体力向上の推進				●		保健体育課	継続	体力向上や健康・安全に関する指導については、学校全体としての指導体制を確立し組織的な活動を推進します。													
				3 体力向上推進委員会の充実		●		●		保健体育課	継続	各学校で設置している体力向上推進委員会を中心に、教育活動全体を通じて意図的・計画的に児童生徒の体力の向上を図ります。													
				4 研修の充実と指導者の資質の向上				●		保健体育課	継続	「生きる力」をはぐくむための教育計画を作成し、教材研究や実技研修、授業研究等の校内研修を充実させるとともに、校内研修にも積極的に参加し、指導力を高めます。													
				5 学校体育施設・用具の安全管理の徹底				●		保健体育課	継続	年1回、体育主任に対し、安全管理について研修を行うとともに、各学校を巡回し、施設、遊具の点検を実施し、必要に応じ修理を行います。													
				6 安全点検の徹底				●		保健体育課	継続	年1回、安全主任に対し、安全点検の研修を行うとともに、月1回の安全点検を実施し、施設、用具等の安全の確認の徹底を図っています。													
				7 学校における健康相談				●		保健体育課	継続	養護教諭、栄養教諭、栄養職員による児童生徒の健康相談活動の充実を図ります。													
	3	地域における子供のスポーツ環境の充実		1 総合型地域スポーツクラブの支援・育成	●	●		●		生涯スポーツ課	継続	町会・自治会、各地区スポーツ推進委員会へのPRや市のホームページで活動を紹介する等、子供から大人まで、それぞれのレベルに応じて参加することができる総合型地域スポーツクラブの必要性を啓発し、クラブの設立・運営等について支援します。	●	③		↗	4 1,939	4 1,762	会員数は減少したが、地域住民が自主的に運営し、誰でも身近な地域でスポーツに親しむことができるスポーツクラブとして定着している。	継続	↗	開設・運営相談や設立3年に満たないクラブに船橋市総合型地域スポーツクラブ育成事業補助金を交付するなどの支援を継続する。			
				2 教育活動指導者の派遣				●		保健体育課	継続	専門的な指導力を備えた指導者を必要とする小・中学校に対して指導者を派遣し、運動部活動の充実を図ります。													
				3 運動部活動と生涯スポーツ活動との連携				●		保健体育課	継続	学校の運動部活動とスポーツ関係団体との連携を図り、支援していく体制を進めていきます。													
				4 市立船橋高等学校との連携		●		●		保健体育課	継続	市立船橋高等学校と連携し、小中学生対象の実技講習会や合同練習等を実施し、併せて指導者対象の研修会等を計画、実施し、運動部活動の充実を図ります。													
				1 成人健康相談の充実		●		●		地域保健課	継続	地域において公民館・町会・自治会等との連携を図りながら、生活習慣病予防や健康づくり全般に関する相談事業を推進します。													
				2 誰もが参加しやすいスポーツ教室の推進（再掲）	●	●		●		生涯スポーツ課	継続	多様な市民ニーズの把握に努め、市民自らが主体的にスポーツ活動に取り組めるよう誰もが参加しやすい教室となるよう、関係団体や指定管理者等と連携しながら開催します。	●	①	参加者数 (1-1-1-2再掲)	↗	679	77,175	令和4年度より市主催のスポーツ教室から指定管理者の自主事業に移行したことにより実績値が増加した。	継続	→	参加者を確保するため、引き続き教室の周知を行う。			
				2 子育て世代や女性の運動習慣の形成		1 親子や家族で参加できるスポーツイベントの推進（再掲）	●	●		●		生涯スポーツ課	継続	親子や家族で参加できるスポーツイベントを船橋市スポーツ協会、船橋市スポーツ推進委員協議会、指定管理者等と連携を図りながら、参加枠拡大を推進します。（Ex：市民マラソン大会、地区スポーツ振興事業、スポーツ教室等）	●	/	/	/	/	令和3年度については新型コロナウイルス感染症の感染拡大の為事業中止となるが多かったが、令和4年度については新型コロナウイルス感染症対策を講じながら事業が行われた。	継続	/	スポーツイベントについて、関係団体と連携を図りながら参加枠の拡大を検討する。		
2 女性が参加しやすい教室等の開催		●					生涯スポーツ課	継続	女性が参加しやすい種目の教室の開催や、市民マラソン大会などに女性部門を設けるなど、女性のスポーツ参加を促進します。																
3 親子教室等の開催（再掲）	●	●					地域子育て支援課	継続	児童ホームにおいて、親子ふれあい教室等成長過程に合わせた体づくりなどの事業を推進します。																
4 親子キャンプ・デイキャンプ		●					青少年課	新規	船橋市立大神保青少年キャンプ場を会場とし、キャンプ・デイキャンプをとおして親子で自然を満喫できる機会を提供します。																
5 ひとり親家庭向けデイキャンプ		●					こども家庭支援課	新規	自然体験や集団遊び等の活動機会や同じ境遇の人たちとの交流の場の提供を目的として、ひとり親家庭を対象としたキャンプ事業を実施します。																

第二次船橋市生涯スポーツ推進計画 各施策対応事業管理表 【令和4年度版】

■毎年測定指標（生涯スポーツ課の所管する事業・施設）

基本施策	方向性
1 ①市主催事業の参加者数	↗
2 ②市体育施設の利用者数	↗
3 ③スポーツ関係団体の団体数・会員数	↗
4 ④地域住民との連携・協働により行った事業の実施回数	↗

基本施策	施策番号	施策	取組番号	取組名	事業名	再開あり	再開する	再開する	達成する	連携・協働	所管課	事業区分	概要	該当事業のみ		該当事業のみ毎年調査項目											
														毎年点検事業	毎年測定指標	点検指標	目標区分	実績値 令和3年度 (参考数値)	令和4年度	実績区分	所感	事業区分	目標区分	来年度方向性 詳細			
1	4	高齢者のスポーツへの参加の促進と生きがいづくり	1	高齢者がスポーツを楽しみむきかけづくり	1					●	生涯スポーツ課	継続	スポーツイベントの参加枠について、高齢者を含め市民のだれもが参加できるよう船橋市スポーツ協会、船橋市スポーツ推進委員協議会、指定管理者等と連携を図りながら、参加枠拡大を推進します。(Ex.市民体育大会、市民マラソン大会、地区スポーツ振興事業、スポーツ教室等)	●	↗	↗	↗	↗	令和3年度については新型コロナウイルス感染症の感染拡大の為事業中止となることが多かったが、令和4年度については新型コロナウイルス感染症対策を講じながら事業が行われた。	継続	↗	スポーツイベントについて、関係団体と連携を図りながら参加枠の拡大を検討する。					
					2	高齢者団体のスポーツ・レクリエーション活動の支援				●	●	高齢者福祉課	継続	各高齢者団体が実施するスポーツ・レクリエーション活動に対して支援します。													
			2	高齢者の生きがいづくりと介護予防の推進	1	高齢者が参加するスポーツ・レクリエーション大会への支援				●	●	高齢者福祉課	継続	高齢者が参加できるスポーツ・レクリエーション大会の開催を促進・支援し、高齢者の生きがいと健康づくり、地域づくりを推進します。													
					2	ふなばしシルバーハビリティ体操の推進				●	●	健康づくり課	継続	健康寿命を延伸することを目的とした体操を、市内26公民館等で実施します。また、ボランティアで活動する体操指導士を養成し、身近な地域で体操教室を開催し、地域住民にふなばしシルバーハビリティ体操を教えることを通じて、地域の健康づくりを促進する活動を推進します。													
	5	★ 重点施策	障害のある人もない人も楽しめるスポーツの推進	1	パラスポーツの理解促進と普及啓発	1					●	●	●	●	生涯スポーツ課	継続	平成30年度にパラスポーツ協議会を設置し、障害のある人もない人も共に楽しめるパラスポーツの普及促進と障害のある人が参加しやすいスポーツ・レクリエーション事業について関係団体と連携を図りながら、事業を検討・実施します。	●	事業実施率	↗	50%	85%	↗	「パラスポーツ協議会で決定された事業計画の実施率」については、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら事業を行い、令和4年度からは上昇した。令和4年度は「ポッチャ交流大会」においてブロックの代表者が中央大会に出場する形式とした。	継続	→	今後も船橋市パラスポーツ協議会において意見交換を行い、障害者スポーツの裾野を広げる取組や競技性の向上に努めていく。
						2	パラスポーツ用具の貸し出し				●		生涯スポーツ課	継続	地域住民が気軽にパラスポーツを体験できるように、ポッチャボールセットを運動公園及び基幹公民館5館に設置し貸し出します。	●	申込件数 利用者数	↗	66 2,064	51 1,848	↘	実績値としてはわずかに減少しているが、おおむね同水準。	継続	→	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、参加者数が増え、実施率の向上が見込まれる。多くの市民が参加できる事業となるよう継続していく。		
						3	パラスポーツイベントの開催				●	●	●	生涯スポーツ課	継続	障害のある人もない人も共に楽しめるポッチャ大会等を関係団体と連携のうえ開催し、障害者のスポーツ参加とパラスポーツの理解促進・普及啓発を行います。	●	① 参加者数 開催数	↗	278 5	379 2	↗	令和3年度については新型コロナウイルス感染症の感染拡大の為事業中止となることが多かったが、令和4年度については新型コロナウイルス感染症対策を講じながら事業を行い、実施率は向上した。	変更	→	令和5年度からはスポーツ推進委員協議会が主体となって開催されるよう連携していく。	
4	スポーツ・レクリエーション大会の支援						●	●	障害福祉課	継続	スポーツ・レクリエーション大会開催を支援し、障害のある人と障害のない人の相互理解と障害のある人の生きがいづくり、健康づくりを推進します。																
2	障害者がスポーツを楽しみむきかけづくり	1	パラスポーツイベントの開催(再掲)				●	●	●	生涯スポーツ課	継続	障害のある人もない人も共に楽しめるポッチャ大会等を関係団体と連携のうえ開催し、障害者のスポーツ参加とパラスポーツの理解促進・普及啓発を行います。	●	① 参加者数 開催数 (1-5-1-3再掲)	↗	278 5	379 2	↗	令和3年度については新型コロナウイルス感染症の感染拡大の為事業中止となることが多かったが、令和4年度については新型コロナウイルス感染症対策を講じながら事業を行い、実施率は向上した。	変更	→	令和5年度からはスポーツ推進委員協議会が主体となって開催されるよう連携していく。					
		2	障害のある人の参加できるスポーツイベントの推進				●		生涯スポーツ課	継続	障害のある人が参加できるスポーツイベントを推進し、障害のある人やその家族等が、スポーツを通してコミュニケーションを図り、心身の健全な育成と余暇活動の支援します。																

第二次船橋市生涯スポーツ推進計画 各施策対応事業管理表 【令和4年度版】

■毎年測定指標（生涯スポーツ課の所管する事業・施設）		方向性	
基本 施策	1	①市主催事業の参加者数	↗
	2	②市体育施設の利用者数	↗
	3	③スポーツ関係団体の団体数・会員数	↗
	4	④地域住民との連携・協働により行った事業の実施回数	↗

基本 施策	施策 番号	施策	取組 番号	取組名	事業課へ毎年進捗調査項目										該当事業のみ			該当事業のみ毎年調査項目																
					事業名	再掲 あり	す る	み る	さ さ え る	連 携 ・ 協 働	所管課	事業 区分	概要	毎年 点検 事業	毎年 測定 指標	点検指標	目標 区分	実績値		実績		来年度方向性												
																		令和3年度 (参考数値)	令和4年度	実績 区分	所感	事業 区分	目標 区分	詳細										
			3	障害者がスポーツを継続するための支援	1	障害者団体のスポーツ・レクリエーション活動の支援				●	●	障害福祉課	継続	障害者団体が実施するスポーツ・レクリエーション活動に対して支援します。																				
					2	障害者やその家族等を対象とした情報発信		●	●			生涯スポーツ課	新規	障害者やその家族等を対象とし、スポーツに関する情報発信を積極的に行います。																				
					3	障害者スポーツ指導者の確保と活用					●	生涯スポーツ課	継続	障害者がスポーツを実施したり、ハラスポーツを推進する上で必要不可欠である指導者の確保するとともに、指導者を活用できる体制の構築を行います。	●		指導者数			3	6 (内スポ推4)	↗	↗	継続	→	指導員の確保・育成は、障害者のスポーツを推進するにあたって必要不可欠であることから、継続する。								
					4	競技性の高い障害者スポーツの支援方法の検討		●			●	生涯スポーツ課	継続	障害者スポーツの裾野を広げる取組や、競技性の向上などの課題を探る等、関係部署・団体と連携し支援の方法を検討していきます。																				
2	1	身近な場所でスポーツを継続できる環境の整備	1	施設の利用しやすさの向上	1	スポーツ施設予約システムの活用					●	生涯スポーツ課	継続	市内各スポーツ施設の予約システムの一元化を図るとともに、市民サービスの向上のために予約システムの利便性・公平性を図ります。	●		有効個人利用者数			29,796	29,753	↗	→	継続	→	新型コロナウイルスの緩和により登録者数は増えているが、有効利用者数は横ばいとなっている。	→	利用者の意見に耳を傾け、予約システムの利便性をより向上できるよう引き続き努めていく。						
					2	体育施設等の整備					●	生涯スポーツ課・公園緑地課	継続	老朽化が進んでいる体育施設等について、安全・安心に利用できるよう、計画的に更新を行うとともに、誰もが使いやすい施設を整備します。	●	②	利用者数			1,145,622	1,640,238	↗	↗	継続	↗	新型コロナウイルスが緩和された影響もあるが、施設内のトイレ改修をはじめ、計画的な整備を行ったことで安全で使いやすい施設を維持することができ、利用者数の増加につながった。		引き続き計画的に整備を行い、安全で使いやすい施設を維持していく。						
			2	拠点となるスポーツ施設の充実	1	指定管理施設の活用（運動公園・法典公園/総合体育館・武道センター）		●	●		●	生涯スポーツ課	継続	運動公園・総合体育館は、市の公式競技のできるスポーツ施設として大規模な大会やトッププロの試合等を誘致し、観る側にも感動を与える事業を推進します。また、法典公園・武道センターも、市の中心的なスポーツ施設として活用していきます。																				
					2	学校体育施設開放事業の充実					●	生涯スポーツ課	継続	学校体育施設が地域住民のスポーツ活動の拠点となることから、引き続き地域住民が主体的に運営管理していけるよう、登録の方法、運営委員会の在り方について検討します。また、利用方法、マナーなどについて引き続き指導を行い、よりよい開放事業を目指します。	●	②	利用者数 登録団体数			493,340 1,130	568,075 1,138	↗	↗	変更	↗	身近なスポーツ活動の拠点として利用されている。学校長及び運営委員会とのやり取りも多く、連携を図れた。利用方法やマナーについての要望については、速やかに学校及び運営委員会会長に連絡し、状況の把握と各団体への周知依頼を行った。		入り方方法・マナーへの要望については引き続き運営委員会との連携を密にする。登録申請についてのオンライン化を進める。						
					3	公的トレーニング施設の整備					●	生涯スポーツ課	継続	船橋市総合体育館（船橋アリーナ）や運動公園体育館等にあるトレーニング施設の整備に努めるとともに、安心してトレーニングができ、気軽に相談できるよう、指導者の配備を図っていきます。																				
			3	身近な場所でスポーツを行える環境の整備	1	運動広場の整備・拡充					●	生涯スポーツ課	継続	テニス、野球、グラウンドゴルフ等ができる初心者向け運動広場の継続及び整備を図ります。また、今後も新たな広場の確保に努めます。	●		場所数			4	4	→	→	継続	→	各運動広場の整備や修繕を適宜行い、不足なく施設を市民に提供することができた。	→	引き続き市民に施設を広く利用促進ができるよう必要に応じて整備や修繕を行っていく。						
					2	まちかどスポーツ広場の整備・拡充					●	生涯スポーツ課	継続	いつでも気軽に利用できるまちかどスポーツ広場を整備していくとともに、引き続き新たな広場の確保に努めます。	●		場所数			19	19	→	→	継続	→	令和4年度中には増減はなかったもののまちかどスポーツ広場に適当な土地があった際には、積極的に手を挙げ、令和5年度中に1つ広場が増える予定となっている。	→	市民からは野球場やバスケットコート、スケートボードパークなどの施設設置要望が多くあることから、民有地等を含めて多目的に利用できる新規広場を引き続き探していく。						
					3	民間スポーツ・レクリエーション施設の情報提供					●	生涯スポーツ課	継続	民間のスポーツ・レクリエーション施設の実態を把握し、市民が情報を利用できるよう努めます。																				
					4	健康器具設置事業					●	公園緑地課	新規	市民の健康づくりを推進するため、身近な公園で手軽に運動ができるよう、健康器具を設置します。																				

第二次船橋市生涯スポーツ推進計画 各施策対応事業管理表 【令和4年度版】

■毎年測定指標（生涯スポーツ課の所管する事業・施設）		方向性	
基本 施策	1	①市主催事業の参加者数	↗
	2	②市体育施設の利用者数	↗
	3	③スポーツ関係団体の団体数・会員数	↗
	4	④地域住民との連携・協働により行った事業の実施回数	↗

基本 施策	施策 番号	施策	取組 番号	取組名	事業課へ毎年進捗調査項目							該当事業のみ			該当事業のみ毎年調査項目									
					事業名	再掲 あり	ずる	ある	改善 される	連携 ・協働	所管課	事業 区分	概要	毎年 点検 事業	毎年 測定 指標	点検指標	目標 区分	実績値		実績 区分	実績 所感	来年度方向性		
																		令和3年度 (参考数値)	令和4年度			事業 区分	目標 区分	詳細
重点 施策	2	効果的な情報発信	1	スポーツに関する情報発信の充実	1	様々な手段による情報提供の促進		●	●	●		生涯スポーツ課	継続	各メディア、広報ふなばし、ホームページ、ツイッター、フェイスブック等、様々な手段を活用し、市民がスポーツ情報を入手できるよう努めます。										
					2	インターネットを利用したスポーツ情報の充実		●	●	●		生涯スポーツ課	拡大	時間や場所にとらわれず、好きな時間に好きな場所で手軽にスポーツに関する情報を入手できるように、インターネットを利用したスポーツ情報の充実させます。	●	市ホームペ ジ閲覧数	↗	524,282	597,439	↗	新型コロナウイルスの緩和によりスポーツ需要が増加したため、閲覧数も比例して増加したと考えられる。特に、3年ぶりに運動公園プールを開催したことでプール案内のページが20万件近く閲覧された。	継続	↗	ホームページ内の情報を常に最新のものにできるよう、引き続き情報の整備を行い、必要な情報をいつでも入手できる状態を維持していく。
					3	スポーツイベントの情報提供の充実		●	●	●	●	生涯スポーツ課	新規	市民が身近な場所で気軽にスポーツイベントに参加できるように、関係団体と連携して、スポーツイベントに関する情報を集約し、市民に発信します。	●	市ホームペ ジ「スポーツ をやりたい・ イベントを知 りたい」の閲 覧数	↗	210 ※令和4年3 月17日から 掲載	1,638	↗	スポーツイベントに関する情報について集約し令和4年3月17日から掲載を開始した。	継続	↗	引き続き地域で開催されるスポーツイベントに関する情報の集約及び発信を行う。
					4	スポーツ施設の情報提供の充実		●	●	●		生涯スポーツ課	新規	市民がスポーツ施設で情報収集したり、スポーツができる施設の情報をインターネット等で情報収集できるよう、スポーツができる施設に関する情報提供を充実させます。	●							ホームページにて公開している体育施設の情報や利用案内、行事予定表などの更新を適宜行い、常に最新の情報が得られる状態にできるよう努めた。	継続	↗
	2	スポーツの魅力発信	1	スポーツ関係団体と連携した情報発信		●	●	●	●	生涯スポーツ課	継続	スポーツ情報を集約するため、船橋市スポーツ協会、船橋市スポーツ推進委員協議会、総合型地域スポーツクラブ、社会教育関係団体等と連携し、各地域のスポーツ行事を市民に向け、情報発信を行うよう努めます。												
			2	プロ・トップスポーツチームの魅力発信（再掲）	●	●	●	●	●	生涯スポーツ課	新規	千葉ジェッツふなばしやくボタスピアーズ船橋・東京ベイの市役所美術コーナーへの展示を年2回ほど行っています。また、市広報紙では特集を組む等、船橋市を拠点としたチームの魅力を発信し、市民が「丸」となって応援することで地域の繋がりを強くするとともに、市民のスポーツへの関心を高めます。												
	3	庁内等の連携体制の整備	1	庁内の連携体制の整備		●	●	●		生涯スポーツ課	新規	スポーツ関係事業について、各計画との整合を図り、各課における事業の効果を最大限に生かせるよう庁内の連携・連絡体制を整備します。事業管理表は、毎年船橋市スポーツ推進審議会で意見聴取後、各課にフィードバックを行います。												
			2	国・県との連携		●	●	●		生涯スポーツ課	新規	国や県の実施するスポーツ関係施策・事業について積極的に情報収集するとともに、協力します。												
			3	顕彰		●	●	●		生涯スポーツ課	新規	関係各課と連携し、スポーツの競技会において優秀な成績を収めた者及びスポーツの発展に寄与した者の顕彰に努めます。												

第二次船橋市生涯スポーツ推進計画 各施策対応事業管理表 【令和4年度版】

■毎年測定指標（生涯スポーツ課の所管する事業・施設）		方向性	
基本 施策	1	①市主催事業の参加者数	↗
	2	②市体育施設の利用者数	↗
	3	③スポーツ関係団体の団体数・会員数	↗
	4	④地域住民との連携・協働により行った事業の実施回数	↗

基本 施策	施策 番号	施策	取組 番号	取組名	事業課へ毎年進捗調査項目										該当事業のみ				該当事業のみ毎年調査項目								
					事業名	再掲 あり	す る	あ る	さ さ え る	連 携 ・ 協 働	所管課	事業 区分	概要	毎年 点検 事業	毎年 測定 指標	点検指標	目標 区分	実績値		実績 区分	実績 所感	事業 区分	目標 区分	来年度方向性 詳細			
																		令和3年度 (参考数値)	令和4年度								
3	1	地域のスポーツ団体の育成・支援	1	総合型地域スポーツクラブの育成・支援	1	総合型地域スポーツクラブの支援・育成（再掲）	●	●	●	●	生涯スポーツ課	継続	町会・自治会、各地区スポーツ推進委員へのPRや市のホームページで活動を紹介する等、子供から大人まで、それぞれのレベルに応じて参加することができる総合型地域スポーツクラブの必要性を啓発し、クラブの設立・運営等について支援します。	●	③	団体数 会員数 (1-2-3-1再掲)	↗	4 1,939	4 1,762	↘	会員数は減少したが、地域住民が自主的に運営し、誰でも身近な地域でスポーツに親しむことができるスポーツクラブとして定着している。	継続	↗	開設・運営相談や設立3年に満たないクラブに船橋市総合型地域スポーツクラブ育成事業補助金を交付するなどの支援を継続する。			
					2	船橋市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会との連携				●	●	生涯スポーツ課	継続	地域スポーツ推進について、市内に設立された総合型地域スポーツクラブが中心となり、設立した「総合型地域スポーツクラブ連絡協議会」と協力して、市と連携を深めるとともに、市民が主体となってスポーツ・レクリエーション活動や健康づくりに親しむことができるような体制を推進します。													
					2	スポーツ関係団体との連携	1	船橋市スポーツ協会との連携				●	●	生涯スポーツ課	継続	船橋市スポーツ協会及び加盟団体と連携し、その組織の運営・大会の企画、指導者の育成等を行います。	●	③	団体数 会員数	↗	52 33,093	52 33,546	→	引き続き会員数の増加を図っていく。	継続	→	会員の高齢化やコロナ禍で生活様態に変化により会員の減少が見込まれるため、スポーツ協会及び加盟団体には活動の改善や普及・啓発に注力してもらおう。
							2	船橋市スポーツ推進委員協議会との連携				●	●	生涯スポーツ課	継続	船橋市スポーツ推進委員協議会の運営及び同協議会が各地区で開催するスポーツイベントを支援していきます。	●	③	団体数 会員数	↗	1 191	1 193	↗	定数200に対し、定数割れしている。	継続	↗	定数を満たすため、スポーツ推進委員の活動を市民にPRする機会を整えるとともに、会議スリム化等活動のしやすさを確保し、継続意欲を向上させることを検討する。
							3	地域のスポーツ団体等との連携				●	●	生涯スポーツ課	継続	船橋市スポーツと健康を推進する会等のレクリエーション活動の運営及び各地区でのスポーツイベントの開催を支援していきます。	●	③	団体数 会員数	↗	8 1,218	8 1,045	→	船橋ポッチャ交流大会は船橋障がい者スポーツ協会の協力を得て開催した。	継続	→	市民のスポーツ活動の場となるよう引き続き団体の活動の支援を継続する。
							4	各種健康・体力づくり講習会、研修会の開催支援				●	●	生涯スポーツ課	継続	市民一人ひとりが、自主的に体力づくりができるよう、スポーツ団体や関係機関が行う健康・体力づくりに関する講習会や研修会の開催に関し、会場及び講師の紹介について支援します。											
	2	スポーツを支える人材の育成	1	スポーツボランティアの確保と活用	1	スポーツ関係団体と連携したスポーツボランティアの確保				●	●	生涯スポーツ課	継続	スポーツ関係団体と連携し、スポーツボランティアを確保していきます。													
					2	ふなばし市民大学校（スポーツコミュニケーション学科）の充実				●	●	社会教育課	継続	スポーツコミュニケーション学科において、地域におけるスポーツ・レクリエーション活動の推進役として活躍できるよう、また障害者や高齢者への理解も含めたカリキュラムの充実を図ります。													
			2	指導者の育成と資質向上	1	船橋市スポーツ推進委員協議会の各種研修会等への支援				●	●	生涯スポーツ課	継続	スポーツ推進委員が地域スポーツのリーダーとして活躍できるように、現状課題について研究し、資質の向上を図るための全国・関東・県等の各種研修大会への参加を支援します。	●		研修受講率	↗	10%	31%	↗	新型コロナウイルスの影響から、予定された研修が中止縮小されたため、未だ達成状況は低い。	継続	↗	新型コロナウイルス感染症から類に移行したことから、研修受講率の向上が見込まれる。		
					2	スポーツ指導者の発掘と活用				●	●	生涯スポーツ課	継続	ふなばし市民大学校スポーツコミュニケーション学科の卒業生等を、スポーツ指導者として活用していきます。													
					3	競技スポーツ指導者等との連携の強化				●	●	生涯スポーツ課	継続	船橋市スポーツ協会や競技団体等との連携を強化し、専門的な指導者としての活用を図ります。Ex) スポーツ講習会													

第二次船橋市生涯スポーツ推進計画 各施策対応事業管理表 【令和4年度版】

■毎年測定指標（生涯スポーツ課の所管する事業・施設）		方向性	
基本 施策	1	①市主催事業の参加者数	↗
	2	②市体育施設の利用者数	↗
	3	③スポーツ関係団体の団体数・会員数	↗
		④地域住民との連携・協働により行った事業の実施回数	↗

基本 施策	施策 番号	施策	取組 番号	取組名	事業課へ毎年進捗調査項目										該当事業のみ				該当事業のみ毎年調査項目						
					事業名	再掲 あり	ず る	あ る	さ さ え る	連 携 ・ 協 働	所 管 課	事業 区分	概要	毎年 点 検 事業	毎年 測定 指標	点 検 指 標	目 標 区 分	実績値		実績 区分	所 感	事業 区分	目 標 区 分	来年度方向性 詳細	
																		令和3年度 (参考数値)	令和4年度						令和3年度 (参考数値)
重点 施策	3	地域住民の連携によるスポーツの推進	1	家庭・地域におけるスポーツ活動の促進	1						生涯スポーツ課	継続	船橋市スポーツ推進委員協議会が市の南部・西部・中部・東部・北部の5ブロックで行う行事及び市の24地区で行う、住民に対し、スポーツに関する指導・助言等の事業を支援します。	●	④	実施回数 参加者数	↗	90 5,861	240 22,345	↗	令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業中止が多かったが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を講じながら事業を実施したことから、実施回数、参加者数が増加した。	継続	↗	新型コロナウイルス感染症がら類に移行したことから、事業実施及び参加者数の増加が見込まれる。	
					2	総合型地域スポーツクラブの支援・育成（再掲）	●	●	●	●	生涯スポーツ課	継続	町会・自治会、各地区スポーツ推進委員へのPRや市のホームページで活動を紹介する等、子供から大人まで、それぞれのレベルに応じて参加することができる総合型地域スポーツクラブの必要性を啓発し、クラブの設立・運営等について支援します。	●	③	団体数 会員数 (1-2-3-1再掲)	↗	4 1,939	4 1,762	↘	会員数は減少したが、地域住民が自主的に運営し、誰でも身近な地域でスポーツに親しむことができるスポーツクラブとして定着している。	継続	↗	開設・運営相談や設立3年に満たないクラブに船橋市総合型地域スポーツクラブ育成事業補助金を交付するなどの支援を継続する。	
			2	地域住民が主体となって行うスポーツイベントへの連携・協働	1	地域スポーツ祭事業への支援		●	●	●	生涯スポーツ課	継続	船橋市スポーツと健康を推進する会等が企画・運営している「スポーツの祭典」、「ジョイ&スポーツ」などの全市的なイベントを支援します。	●	④	実施回数 参加者数	↗	0 0	0 0	→	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度及び令和4年度はイベントが中止された。	継続	↗	新型コロナウイルス感染症がら類に移行したことから、事業実施及び参加者数の増加が見込まれる。	
					2	地域スポーツ奨励事業への支援		●	●	●	生涯スポーツ課	継続	地区による人口格差や少子高齢化、活動場所の確保などの課題をふまえ、地域住民自らが主体的にスポーツ活動に取り組めるよう、24地区で行われる各地区のスポーツイベントを支援します。	●	④	実施回数 参加者数	↗	1 217	5 3,167	↗	令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業中止が多かったが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を講じながら事業を実施したことから、実施回数、参加者数が増加した。	継続	↗	新型コロナウイルス感染症がら類に移行したことから、事業実施及び参加者数の増加が見込まれる。	
	4	船橋市特有のスポーツ文化の醸成	1	大規模大会の開催支援・協力	1		●	●	●	●	生涯スポーツ課	継続	各種大規模大会の他、震災復興やオリンピック・パラリンピック等の推進に繋がる大規模事業に対しても協力します。												
					2	国・県等の実施する大会への協力		●	●	●	●	生涯スポーツ課	継続	国民体育大会、全国高等学校総合体育大会、国際千葉駅伝大会等の開催の協力及び人材派遣を行います。											
			2	トップアスリートの育成とアスリートとの好循環に向けた取り組み	1	総合的なスポーツ資料の展示				●	●	生涯スポーツ課	新規	総合的なスポーツ資料の展示室を整備することで、市民や全国各地から集う利用者に対して本市のスポーツに関する情報を積極的にPRし、認知度の向上を図り、「市にゆかりのあるスポーツ選手」の情報の掘り起しを行います。											
					2	プロ・トップスポーツアスリートによるスポーツ教室（再掲）	●	●	●	●	生涯スポーツ課	新規	千葉ジェッツふなばしやクボタスピアーズ船橋・東京ベイ等による、スポーツ教室を開催し、トップレベルの選手から直接指導を受けることにより、子供たちに夢や希望を与え、スポーツへの関心を高めます。	●		実施回数 参加者数 (1-1-2-2再掲)	→	2 266	8 727	↗	令和3年度については新型コロナウイルス感染症の感染拡大の為事業中止となるが多かったが、令和4年度については新型コロナウイルス感染症対策を講じながら事業を行い、実施回数・参加者数は向上した。	継続	→	プロスポーツチームによる活動は、スポーツを推進する上で有効な活動であることから継続する。	
	3	スポーツによる国際交流	1	外国人が参加できるスポーツイベントの推進		●		●	生涯スポーツ課	継続	スポーツ関係団体と連携し、外国人を含めた市民の誰もが参加できるスポーツイベントを推進します。														
			2	市民レベルでの交流活動との連携				●	●	生涯スポーツ課	継続	スポーツ・レクリエーション活動や地域行事に、外国人住民が気軽に参加できるよう、関係団体に情報提供します。													